



図書館だより

Shizuoka Institute of Science and Technology Library

TOPICS

1. 「館長の本棚」展示が新しくなりました！

2025 年度より機械工学科の後藤昭弘先生が図書館長に就任されたことにともない、展示架「館長の本棚」に展示している図書館長、副図書館長の推薦図書をリニューアルしました。すべて推薦コメントの帯が付いています。ぜひ、ご注目ください。

後藤昭弘図書館長のおすすめ

『本当の自由を手に入れるお金の大学』両@リベ大学長著
『ローマ人の物語(2)ハンニバル戦記』塩野七生著
『ウォール街のランダム・ウォーカー』バートン・マルキール著
『豊饒の海(一)春の雪』三島由紀夫著
『学校では教えてくれない地政学の授業』茂木誠著

友次克子副図書館長のおすすめ

『生成 AI スキルとしての言語学』佐野大樹著
『言語学バーリ・トゥード Round 2』川添愛著



2. 電子ブックの充実を図っています

2024 年度は 62 タイトルの電子ブックを新規購入しました。2025 年 6 月現在、累計で 472 タイトルの電子ブックが図書館の蔵書検索サイトから利用できます。「通学の合間に」「自宅から」学外でも電子ブックを利用することができます。マイライブラリのメニュー「★情報」のリンクから電子ブックのサイトへアクセスしてご利用ください。※



情報

下記のリンク経由で電子ブックが学外から利用できます。
利用端末により、接続できない場合があります。(PC推奨)

[電子ブック \(KinoDen\)](#)

[電子ブック \(Maruzen eBook Library\)](#) 英語多読ほか

<新規購入タイトル>

『就職四季報』総合版、中小・優良企業版、業界地図など最新版
『CAD/CAM』・『まちづくりの百科事典』・『分析化学の基本操作』
『図説建築環境』・『MATLAB ではじめるプログラミング教室』
『一生使える見やすい資料のデザイン入門』など
英語多読図書などさまざまな電子ブックが利用可能です。

※学生のみ。教職員は「学認」をご利用ください。

3. 土木工学図書を受け入れました

2024 年度は、土木工学科向けの図書 297 冊、電子ブック 16 タイトル、映像資料(DVD)3 点を受け入れました。土木工学科の設置にあたり、4 年間の累計で 2,077 点の資料を受入れ、「水工学」「地盤工学」「構造工学」「建設材料工学」「環境・計画学」の土木工学の各分野、防災など関連する分野の資料を幅広く取り揃えました。一部は南閲覧室の展示架上に配架して紹介しています。学内だけでなく地域の皆様にも利用していただけますので、ぜひご活用ください。



4. 図書館で活動する学生団体を紹介します

LA (Library Associate : 学生選書委員)

図書館が好き、本が好き。そんな学生たちが集まり、“図書館”や“理工科大生の読書”を盛り上げるべく、学生選書委員として活動しています。本の選書、選書ツアーへの参加、読書会、POP 制作、大学祭でのワークショップなど様々な活動しています。
* 随時参加できます。興味のある方は気軽にカウンターでお声がけください。

図書館コンシェルジュ

図書館内で学生 (コンシェルジュ) による学生のための学修支援を行っています。前期は院生・学部生 7 名が、月～金の 2・3・4 限の時間帯で学習相談に応じます。日頃の授業の中で分からないことなどがありましたら気軽にコンシェルジュコーナーにお越しください。学生目線で親切・丁寧に対応いたします。資格取得やプログラミングなどの講座も企画中です。
* 担当時間など詳しくは、館内掲示およびホームページをご覧ください。



読書への羅針盤

西田 孝弘 先生（土木工学科）に聞く

「優れた人格を育てる7つの習慣」



今回は、土木工学科の西田孝弘先生にお話を伺いました。先生は「社会インフラ材料学」という、コンクリートや鉄などのダムや橋といったインフラを支える材料を研究されています。先生は学生時代に土木工学を学んでいた際に「材料」が今後多様な分野へと通じる可能性に惹かれたそうです。現在、先生の研究対象は材料の老化（鉄筋がコンクリートの中で腐食する）や、納豆菌を使用したコンクリートなど多岐に渡っています。

そんな西田先生の幼少期はどんな少年だったかと伺うと、小学生から高校生までバレーボール部で汗を流していたスポーツ少年だったそうです。休日にも練習に費やすほどで、本を読む時間はほとんどなかったようです。が、『ズッコケ三人組』や、ご出身が広島県だそうで『はだしのゲン』、『広島カープ誕生秘話』など読まれていたとのこと、お話を聞いていて、活発な少年時代の先生が目に見えました。

そんな先生がおすすめする本は、スティーブン・R・コヴィー著の『七つの習慣』です。この本は多くのビジネス書にあるような、個人の表面的なテクニックを説く「個性主義」ではなく、個人の内面を深く理解し磨く「人格主義」を重視するということが書かれています。「Win-Win」という言葉

も、この本がきっかけで広く使われるようになりました。

なかでも先生が深く感銘を受けたとおっしゃられていたのは、「第Ⅱ領域を大切にすること」です。第Ⅱ領域とは、緊急性はないが、重要度が高い“やるべきこと”が位置する領域のことで、“第Ⅰ領域”のような緊急性はないが、そのせいで疎かにされがちになり、主体的な生き方を妨げるものになってしまう。それを排除するための考え方、実践方法がこの本には書かれています。

最後に、本学の学生の印象をお聞きしたところ「挨拶をしてくれる学生が多いのでとても好感がもてる」と答えてくださいました。挨拶をすることは当たり前のことのように思いますが、挨拶をする学生が少ない大学もあるようで、自ら積極的に挨拶をしていることがすばらしいとおっしゃっていました。また、人間関係や学びに対して素直で誠実な学生が多い印象もお持ちのようでした。

西田先生この度はお忙しい中有意義なお話をお聞かせくださりありがとうございました。

【所在】『完訳7つの習慣』 図書/西 159/C89

インタビュー・記事：物質生命科学科4年 平野幹喜



私の選んだ一冊

『戦国ブリテン：アングロサクソン七王国の王たち』 桜井俊彰著

イギリス現王家のルーツは、11世紀の征服王ウィリアム一世とされています。アングロサクソン人の国というイメージがあるイギリスですが、その王家の開祖はといえば、軍事遠征で王位を篡奪(さんだつ)したフランス貴族のノルマン人なのです。ノルマン・コンクエスト以前のブリテン島では、アングロサクソン人の王達の小国家が乱立し、覇を競い合っていました。本書では、群雄割拠の戦国時代を制した8人の霸王達に時系列順に焦点が当てられ、高校世界史では殆ど触れずに流される謎多き時代を追体験できます。

(コンピュータシステム学科2年 中野航輔)



『岸辺露伴は嗤わない』 荒木飛呂彦原作/柴田勝家著

イタリアの“泥棒市”で露伴が出会ったのは、<日く>の付いた品ばかりが並ぶ不気味な露店。そして、ひとつだけ「日くがない」と言われた人形。その人形の詳細を求めた途端、店主の笑顔だった表情は消え、何も語らない。露伴の興味はさらに刺激される。人形を買い、店を後に。一週間後、店主は死亡した。それは単なる偶然なのか、なにかがおかしい。不気味な静けさと、じわじわと迫る違和感。その後の展開が気になる短編です。

(コンピュータシステム学科3年 金澤大基)

『サクッとわかるビジネス教養 新地政学』

奥山真司著（新星出版社）

地政学というと、文系の学問、国際政治や歴史に関心のある人のためのもの、というイメージがあるかもしれませんが。しかし実は、理系の学生にとっても地政学は“現代を読み解くための実践的なツール”として非常に有用です。

本書は、そんな地政学を、初学者にもわかりやすく、論理的に紹介してくれる一冊です。著者の奥山真司氏はこの分野の日本の権威で、複雑な国際関係や外交の動きを、抽象的な理念や感情論ではなく、「地理的条件」と「国家戦略」の関係からシステムティックに解き明かしていく構成は、理系的な思考にもフィットするはずです。

たとえば、「なぜアメリカは常に世界中に軍事的プレゼンスを持とうとするのか」、「中国がなぜ海洋進出に力を入れているのか」、「日本が周囲の国々とどう位置関係にあり、どんなリスクとチャンスを抱えているのか」。そうした問いに対して、本書は地図や地理データをベースに、構造的な説明を加えてくれます。

地政学とはいわば、「国家単位の行動原理を、地形や距離、資源、輸送経路などの物理的制約と照らし合わせて考える学問」です。これは、数理モデルやシステム設計のように、前提条件をもとに複雑

な現象の背後にあるロジックを解き明かす作業ともいえます。理系の学びと親和性が高いのもそのためです。

さらに、地政学の知識はテクノロジー分野にも直結します。たとえば半導体供給網、エネルギー資源、AI 開発競争、宇宙・サイバー空間の安全保障。こうした現代の技術課題は、地政学的背景なしには正しく理解できません。技術者を目指す人にも、ビジネスに興味がある人にも、国際的な視点を持つて問題を捉えるための“土台”として地政学は有効です。

本書は、地政学の基本理論を紹介しながらも、現実のニュースや経済・軍事・技術の動きと結びつけて話が展開されるので、飽きることなく読み進められます。通学中やスキマ時間に読めるコンパクトな構成も魅力的です。

「国際情勢は理系には関係ない」と思っていた人にこそ、ぜひ手に取ってほしい一冊です。理系の知識だけでは捉えきれない、けれど確実に私たちの未来に影響を与える“世界の構造”を、この本は地政学という切り口で見せてくれます。

【所在】図書/西 312.9/Sh61

新着図書紹介

ゲートはすべてを言った
鈴木 結生 著、朝日新聞出版

そのほかの
新着情報



言語研究のためのPython活用術
浅尾 仁彦 著、開拓社

「なんかよかった」で終わらない絵画の観方
美術館が面白くなる大人の教養
井上 響 著、KADOKAWA

このオムライスに、付加価値をつけてください
柿内 尚文 著、ポプラ社

教養としての建築
命を守る「人間の住処」をらうのアプローチで堪能する入門書
バツコ 博士 著、かんき出版

僕には鳥の言葉がわかる
鈴木 俊貴 著、小学館

シン読解力 学力と人生を決めるもうひとつの読み方
新井 紀子 著、東洋経済新報社

Nexus 情報の人類史 上・下巻
ユヴァル・ノア・ハラリ 著、柴田 裕之 訳、河出書房新社

読んでわかる心理学
清水 寛之 ほか 著、サイエンス社

数学の美 情報を支える数理の世界
呉 軍 著、井上 朋也 訳、東京化学同人

「私の読書歴」

図書館長 後藤昭弘

今年度、図書館長を拝命したのを機に、自身の読書歴を振り返ってみようと思いました。本は若いころからよく読んだものだと思います。しかし、本をよく読んだ割には、「国語」は大の苦手で、大学受験の時には、国語が零点でも合格できるような算段をしていたのを思い出します。作者と根本的なところで意見が合わなかったのかもかもしれませんが、今思えば、人生経験が足りなかったとか、ものを知らなかったとかいうことが原因だったように思います。中学生頃までは、文学作品や推理小説

ってしまっただけのもこの頃です。いまだに読んでいません。

私は高校生の時に社会科の科目の一つとして「世界史」を選択していました。世界史という科目は、教科書も分厚く、覚えることだらけで、受験科目としては極めてコストパフォーマンスの悪い科目です。どれだけ勉強しても高い点を取ることができませんでした。私の息子などは要領よく「政治経済」を選択し、ほとんど勉強することなく高得点を取っていました。高校の世界史の先生が「歳をとると歴史が楽しくなる。」と言っていて「ばかばかしい」と思っていました。しかし、実際に歳を取ってみると、本当に歴史が面白くなりま

なをよく読みました。小学生の時に図書館でシャーロック・ホームズの『バスカビル犬』を読み大変興奮したのを覚えています。中学生の時に伊藤左千夫の『野菊の墓』を学校で読んでいて、うかつにも涙を流してしまったことがありました。大袈裟なことはいくはないですが強い影響を受けた本はあります。高校生の時に読んだフロイトの『精神分析入門』、『夢判断』はまさに衝撃的でした。「人間のこころはこんな風にできているのか。」と自分を見つめなおす契機にもなりました。この後、ユングや他の心理学・哲学の本を好んで読むようになりました。ニーチェの『ツァラトゥストラ』に感激し、ニーチェ全集を買

した。30代で読んだ塩野七生の『ローマ人の物語』には、何か月も他の本を一切読めなくなるくらい夢中になりました。高校で世界史を勉強してよかったと思った瞬間です。

社会人になると、金融・経済学関連の本を多く読むようになり、まさに「世の中の仕組み」がわかるようになったと思います。文字通り豊かになることにもつながります。今では、このテーマで講演を依頼されるほどの「専門家」になっています。

ここまで駄文にお付き合いいただきありがとうございます。本は人生を豊かにしてくれると思います。皆さんがいっぱい本と出合うことを願っています。

LIBRARY CALENDAR

開館時間： 9:00～18:00 9:00～20:00 9:00～16:00 休館日

6 月							7 月							8 月							9 月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	・	・	1	2	3	4	5	・	・	・	・	・	1	2	・	1	2	3	4	5	6
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
29	30	・	・	・	・	・	27	28	29	30	31	・	・	24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	31	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

- 7月21日, 9月23日(祝)の開館時間 9:00～18:00 | ● 8月2日(土) 定期試験中開館日 9:00-16:00
- 8月4日(月)～9月18日(木)までの開館日の開館時間 9:00～18:00
- 【休館】 大学夏期休業 8月8日(金)～14日(木) | ● 【休館】 法人全体研修 8月26日(火)
- 【休館】 大学指定の休日 8月28日(木), 29日(金), 9月8日(月), 9日(火)

※開館カレンダーは、状況により変更される場合があります。最新の情報は図書館ウェブサイトをご確認ください。

【編集後記】大阪・関西万博へ行ってきました。世界各国(地域)の歴史や文化、先端技術を体験したり、多様な人々と交流したりできる貴重な機会。壮大な大屋根リングをはじめ、建築やデザインにも注目が集まっており、「Casa BRUTUS」6月号など図書館所蔵の雑誌にも、万博の建築物や建設技術を紹介する記事が掲載されています。知識を深めると、楽しみ方がより広がりますね。